

海底土核種分析結果 < 1/2 >

参考値

(データ集約：1/20)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に 約30m地点)	福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口付近)	福島第二 北放水口付近 (3,4号機放水口付近) (福島第一から約10km地点)	福島第二 岩沢海岸付近 (1,2号機放水口から 南側に約7km地点) (福島第一から約16km地点)	岩沢海岸沖合 15km
試料採取日 時刻	平成24年1月18日 8時45分	平成24年1月18日 9時55分	平成24年1月18日 14時30分	平成24年1月18日 8時15分	平成24年1月18日 11時15分
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/kg・湿土)				
I-131 (約8日)	ND	ND	ND	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1,200	1,400	170	250	210
Cs-137 (約30年)	1,600	1,800	220	330	270

その他の核種については評価中。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約12Bq/kg・湿土) を下回る場合は、「ND」と記載。  
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

悪天候のため、6地点中1地点の採取中止

海底土核種分析結果 < 2/2 >

参考値

(データ集約：1/20)

採取場所	広野町沖合 15km				
試料採取日 時刻	平成24年1月18日 採取中止				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/kg・湿土)				
I-131 (約8日)	-				
Cs-134 (約2年)	-				
Cs-137 (約30年)	-				

悪天候のため、6地点中1地点の採取中止

## 海底土中の Pu 分析結果

### 1. 測定結果

(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所	採取日 分析機関	Pu-238	Pu-239, Pu-240
江名沖合 3km	11月7日 日本分析センター	N.D. [ $<1.6 \times 10^{-2}$ ]	$(4.6 \pm 0.32) \times 10^{-1}$
小高区沖合 3km	11月10日 日本分析センター	N.D. [ $<1.3 \times 10^{-2}$ ]	$(8.4 \pm 0.99) \times 10^{-2}$
福島第一 敷地沖合 15km	11月11日 日本分析センター	N.D. [ $<1.3 \times 10^{-2}$ ]	$(5.0 \pm 0.31) \times 10^{-1}$
請戸川沖合 15km		N.D. [ $<1.5 \times 10^{-2}$ ]	$(2.1 \pm 0.18) \times 10^{-1}$
福島第一 5,6号機放水口北側	11月14日	N.D. [ $<1.1 \times 10^{-2}$ ]	$(4.8 \pm 0.77) \times 10^{-2}$
福島第一 南放水口付近	日本分析センター	N.D. [ $<1.4 \times 10^{-2}$ ]	$(6.5 \pm 0.94) \times 10^{-2}$
岩沢海岸沖合 3km	11月18日	N.D. [ $<1.7 \times 10^{-2}$ ]	$(4.7 \pm 0.33) \times 10^{-1}$
岩沢海岸沖合 8km	日本分析センター	$(1.9 \pm 0.53) \times 10^{-2}$	$(5.3 \pm 0.35) \times 10^{-1}$
鹿島沖合 5km	11月22日 日本分析センター	N.D. [ $<1.3 \times 10^{-2}$ ]	$(3.8 \pm 0.25) \times 10^{-1}$
福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定範囲(平成11年度～平成20年度) <sup>1</sup>		-	$1.7 \times 10^{-1} \sim 5.6 \times 10^{-1}$
国内における過去の測定範囲(平成18年度～平成22年度) <sup>2</sup>		N.D. $\sim 6 \times 10^{-2}$	-

[ ]内は検出限界値を示す

1：出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)

2：出典 文部科学省.“環境放射線データベース”.

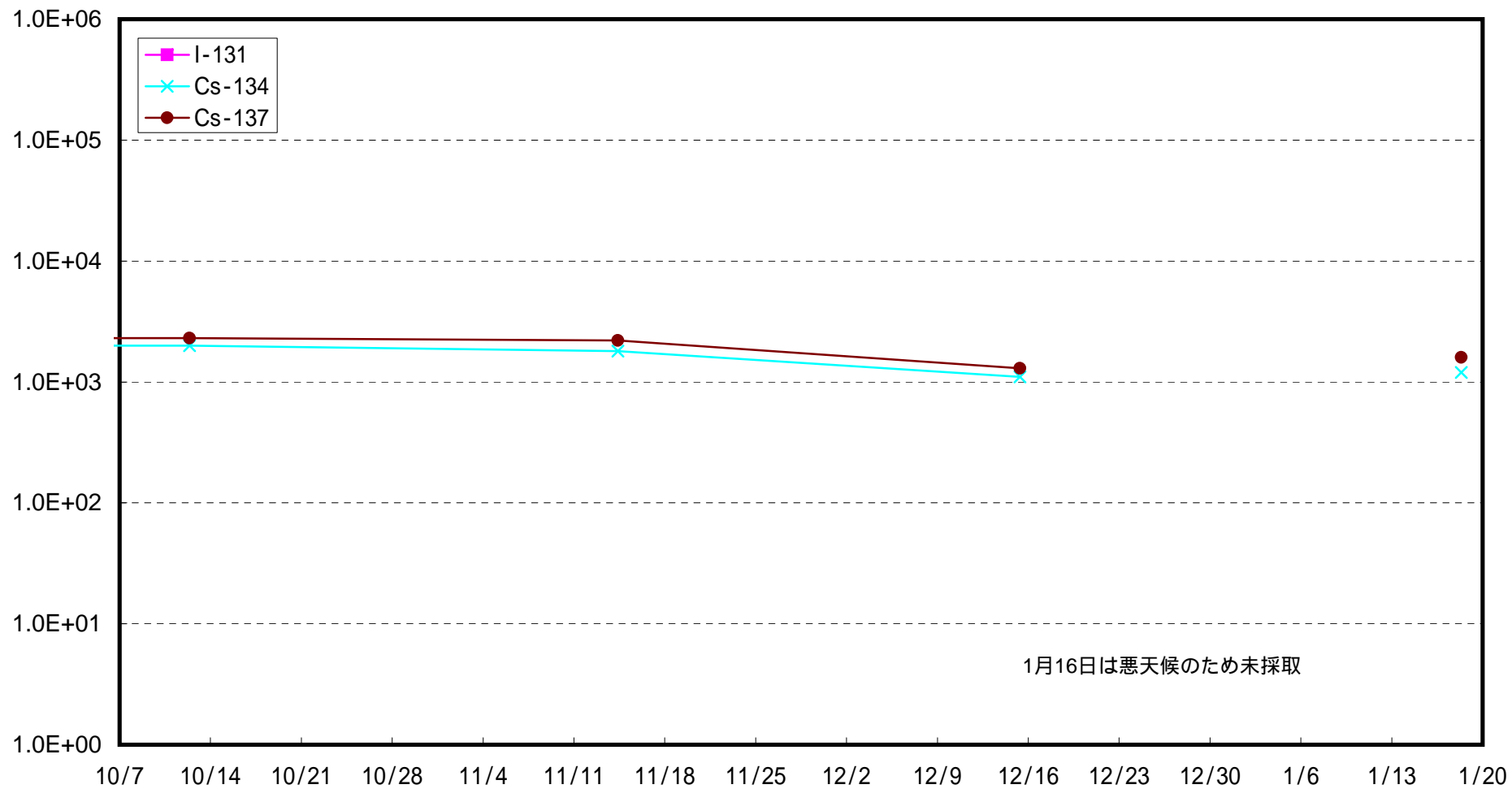
<http://search.kankyo-hoshano.go.jp/servlet/search.top>, (参照 2012-01-18).

### 2. 評価

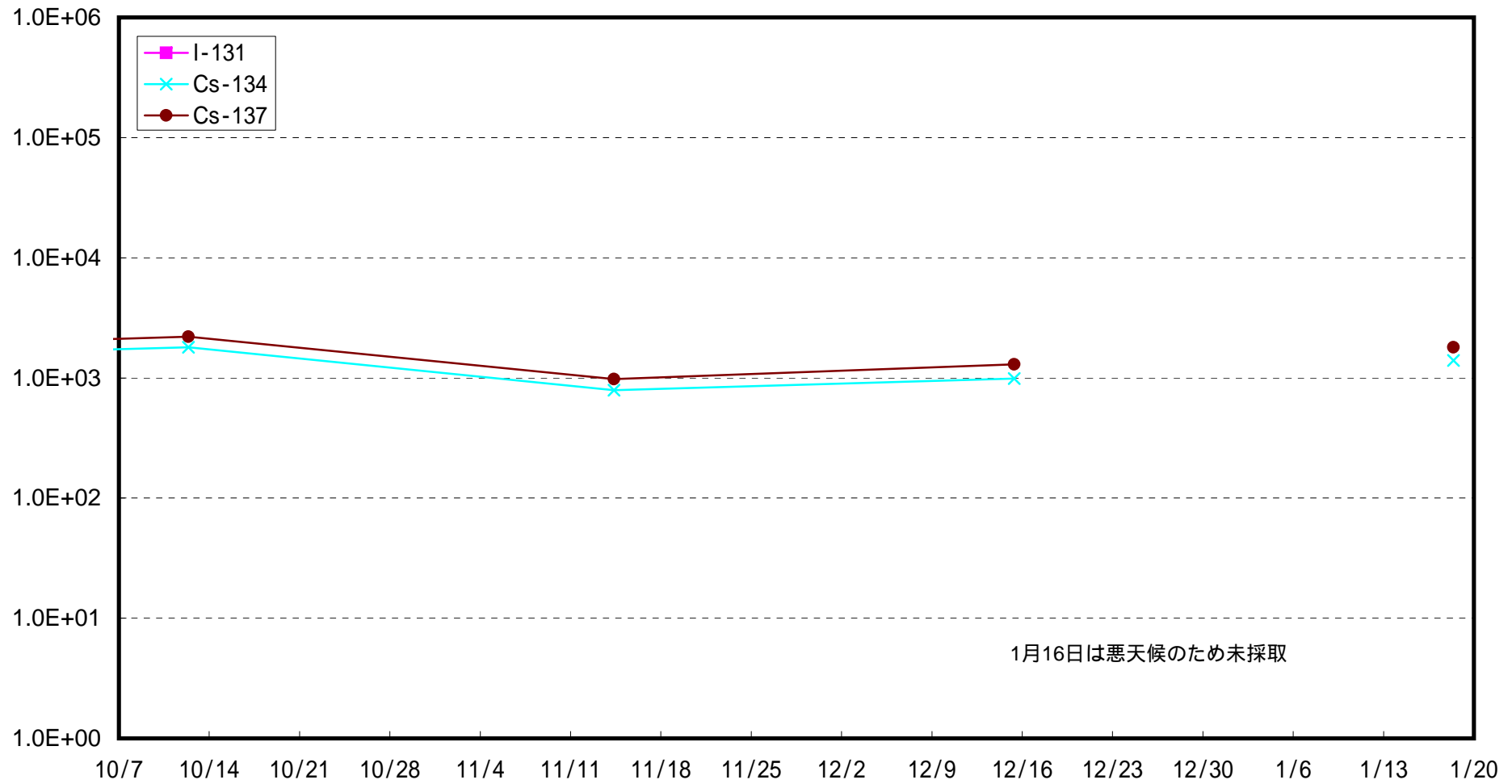
11月7日～11月22日に検出されたPu-239, 240の濃度は、福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値の範囲内である。また、岩沢海岸沖合8kmにおいて検出されたPu-238は、濃度は国内における過去の測定値の範囲内であり、Pu-239, 240に対する放射能比(Pu238/Pu-239, 240)も0.036と、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。

以上

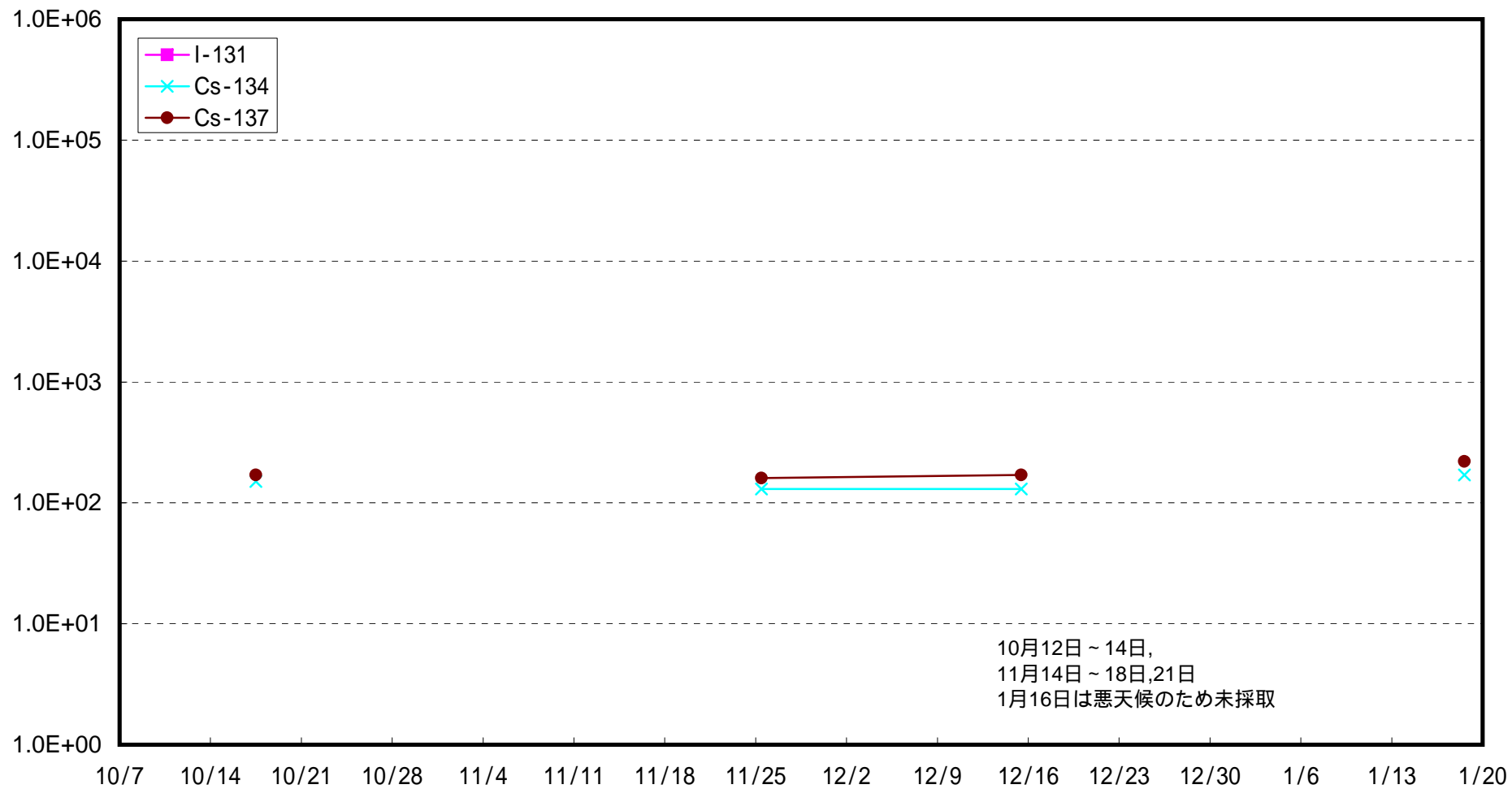
福島第一 5,6号機放水口北側 海底土放射能濃度 (Bq / kg・湿土)



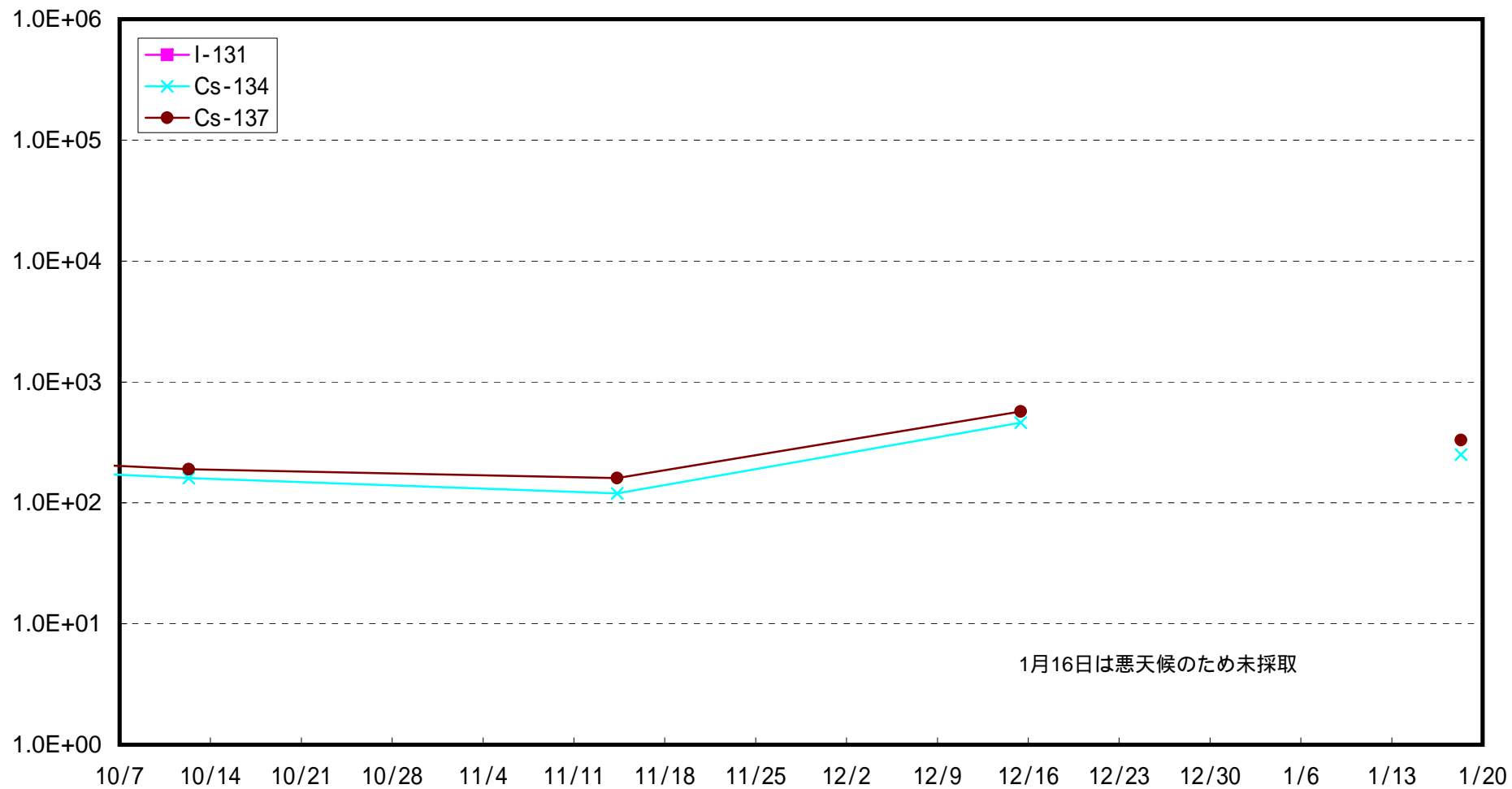
# 福島第一 南放水口付近 海底土放射能濃度 (Bq / kg・湿土)



# 福島第二 北放水口付近 海底土放射能濃度 (Bq / kg・湿土)



# 福島第二 岩沢海岸付近 海底土放射能濃度 (Bq / kg・湿土)



# 岩沢海岸沖合15km海底土放射能濃度(Bq/kg・湿土)

